

平成26年度第8回白井市子ども・子育て会議  
 摘録

会議名	平成26年度第8回白井市子ども・子育て会議	
日時	平成27年3月4日(水) 午後2時から	
場所	保健福祉センター2階 研修室2	
出席者氏名	委員	鳥海委員、金子委員、廣澤委員、菅森委員、田村委員、木村委員、駒村委員、星委員、嶋本委員、堀井委員、田中委員、森委員
	事務局	健康福祉部 児童家庭課
欠席者氏名	浅野委員、風間委員、鈴木委員、伊藤委員、穴田委員、新倉委員	
次第	1. 開会 2. 報告事項 3. 議事 (1) 子ども・子育て支援事業計画案のパブリックコメント結果について (2) 子ども・子育て支援事業計画最終案について (3) 子ども・子育て支援事業計画策定報告書について (4) 子ども・子育て支援事業計画スケジュールについて (5) 平成25年度しろい子どもプラン(次世代育成支援地域行動計画後期基本計画)の進捗状況結果等について (6) その他について 4. 閉会	
議事内容	次ページ以降の通り	

## 議 事

### 1. 開会

### 2. 報告事項

### 3. 議事

#### (1) 子ども・子育て支援事業計画案のパブリックコメント結果について

(事務局より説明)

廣澤会長：特に、ご意見・ご質問がないので、議題（1）を終わります。

#### (2) 子ども・子育て支援事業計画最終案

(事務局より説明)

廣澤会長：ご意見・ご質問がございましたらお願いいたします。

森委員：55 ページ「子どもの虐待防止」について、前回の案から「権利擁護」が抜けてしまっているが、その意図は何でしょうか。

事務局：施策として、あてはまるものがなかったため、表題から外しました。

森委員：個人的には、権利擁護がある方が、「いじめ防止」に入りやすい気がします。

事務局：検討させていただきます。

森委員：放課後子ども教室について、現在大山口小学校は小学1年生のみを対象としているが、今後全学年まで引き上げる予定はあるのでしょうか。

事務局：来年度は未定です。

森委員：これまでの検討であったように、本来であれば、全学年を対象にするところであると思います。

事務局：会議の中で意見をしていきたいと思います。教育委員会と児童家庭課が連携して話をさせていただきます。

廣澤会長：放課後子ども教室は、他の学校でも行う予定はありますか。

事務局：現状ではとくにありません。学童保育に比べて、なかなか進んでいないのが現状です。今回の放課後子ども総合プランで、学童保育と放課後子ども教室を一体的に行っていくこととしています。

金子委員：54 ページの事業 no. 69 について「小児慢性特定疾患時」は国の法改正で、「小児慢性特定疾病児童」に変更されているはずですが、また、事業 no. 72 のひとり親家庭の支援について母子家庭だけでなく、父子家庭も含まれると思います。

事務局：確認させていただきます。

金子委員：35 ページの地図について、施設名があった方が親切だと思います。

事務局：検討させていただきます。

森委員：最近、母親が子どもを殺してしまう事件がありました。母親が子育ての不満を誰にも言えない背景があると思う。母親を一番理解をしてあげられる存在は父親であり、事業 no. 57 の「父親の育児参加についての啓発」について、子育てと家事の両立の大変さの理解を促すことを行ってほしいと思います。

事務局：同様のお話をよく伺います。さまざまな場面で母親の負担軽減になるような事業を実施していきたい。

事務局：育児の精神的な負担の部分も軽減できるよう、マタニティ講座を日曜日に開催し、父親も参加しやすいようにしています。また、出生の面接時は父親が届出にくることが多いので、マタニティブルーや産後うつについて説明していますので、今後も継続していき

たいと思います。

廣澤会長：その他、ご意見・ご質問がないので、議題（2）を終わります。

**（3）子ども・子育て支援事業計画策定報告書について**

（事務局より説明）

廣澤会長：ご意見・ご質問がございましたらお願いいたします。

事務局：会長と調整しながら意見書を作成させていただきます。

**（4）子ども・子育て支援事業計画スケジュールについて**

（事務局より説明）

廣澤会長：特に、ご意見・ご質問がないので、議題（4）を終わります。

**（5）平成25年度しろい子どもプラン（次世代育成支援地域行動計画後期基本計画）の進捗状況結果等について**

（事務局より説明）

廣澤会長：ご意見・ご質問がございましたらお願いいたします。

星委員：事業 no. 41 の「特別支援学校児童等の放課後対策の充実」について、相談事業所でサービス等利用計画を立ててから施設を利用することになったが、白井市内には事業所が2か所しかありません。自治体の規模はありますが、我孫子市には10箇所程度あるとききます。白井市では、保護者が計画を立てて利用することもできますが、第3者と相談し、国の制度や利用できる施設を理解した上で計画を立てていくことができると思います。また、ショートステイについて、なかなか障がいのある子どもを預けることは難しく、成人向けの施設がほとんどであるため、実際の利用に結びつきづらいと思います。子どもの将来を考えると、周りの人の手を借りながら育ていくことも重要なので、将来子どもが親元を離れて暮らしていくことを想定した訓練ができる場所が増えてくれると思います。

事務局：頂いた意見を踏まえて担当課と調整して取り組んでいきたいと思います。

廣澤会長：その他、ご意見・ご質問がないので、議題（5）を終わります。

**（6）その他について**

（事務局より第9回子ども・子育て会議開催の説明）

#### 4. 閉会

（終了）